令和六年三月十日　宮城偉光会館新生式

神　示

この地に　神魂宿りて　早三十一年
信者は　神の手の中　人生守られ　今日を迎えている
「人生の真理」を学び　悟りを深める信者も多く
　仕合せの根が深く張り始めている
「運命」に導かれて　悲しみの人生を乗り越え
　「希望の光」を歩む姿が見える
この地は栄えてゆく
　この地の偉光会館とともに
神は　信者の人生を見ている
信者の心の成長に合わせて
「運命・実体」を磨き　高めるにふさわしい　偉光会館へと
　環境・施設を引き上げる
信者は　ますます実体を磨く努力が必要
「実体」磨き　高めるほどに
　信者の人生は　神の手の中　守られ　導かれ　救われる
心に波風　行きつ戻りつ　悩み多きこの地の実体に
　「人生」のまれずに　仕合せ・幸福な人生を歩み抜ける